

今日のトピック オーストラリアの金融政策(2014年12月) 15会合連続で政策金利を据え置き

ポイント1 過去最低の2.5%で据え置き

決定は市場予想通り

- オーストラリア準備銀行(RBA)は2日、政策金利を過去最低の2.5%に据え置くことを発表しました。据え置きは、市場予想通りであり、15会合連続です。
- 声明文では、引き続き「現行の政策は、景気とインフレの見通しに沿う」とし、これまで通り現行水準での低金利政策の継続を示唆しました。

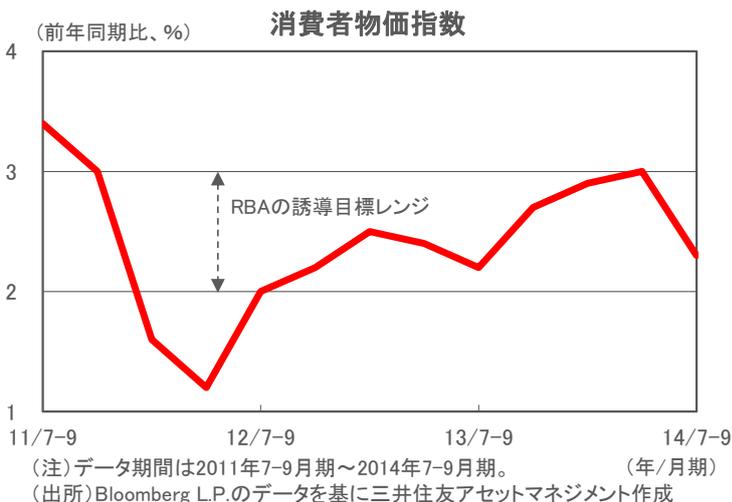


(注) データ期間は2011年12月1日～2014年12月2日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 物価上昇率は低下

消費は底堅く推移

- 物価上昇率は、賃金の上昇率が安定的に推移すると見られることやエネルギー価格の下落により、2%台前半で当面安定的に推移しそうです。
- 消費は、低金利や雇用環境の改善に支えられ、底堅い推移が見込まれます。
- 一方、足元で鉄鉱石などの資源価格が下落基調にあります。資源価格の下落は、輸出額や投資の減少要因となることから、景気にはやや不透明感も出ています。



(注) データ期間は2011年7-9月期～2014年7-9月期。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 豪ドルは比較的高い金利や日銀の金融緩和により対円で底堅く推移

- 低金利や雇用環境の改善などによる消費の増加に支えられ、景気は当面底堅く推移しそうです。GDP成長率は年+3%程度が見込まれています。
- RBAは、足元の物価上昇率の低下なども踏まえ、今後2年間の物価上昇率が年+2～3%の目標と合致するとの見方を前回に引き続き示しています。物価は、エネルギー価格の下落により当面は落ち着き、RBAの見方に沿って推移しそうです。
- RBAは、物価の落ち着きから政策金利を当面据え置きそうです。ただし、資源価格の下落により景気が下振れた場合には、利下げ観測が強まりそうです。
- 豪ドルは、比較的高い金利水準が当面継続しそうなことや日銀の強力な金融緩和により円安傾向が継続しそうなことから、対円で底堅い推移が見込まれます。

ここも チェック!

2014年11月19日【デイリー No.1,996】最近の指標から見る豪州経済(2014年11月)
2014年11月04日【デイリー No.1,983】オーストラリアの金融政策(2014年11月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。